

長距離無線モデム GSU-7000仕様書(デジタル簡易無線長距離データ伝送装置)

ジオテクサービス株式会社 2022/12/01

■特徴



電源ケーブル 本体 RS-232C ケーブル (アンテナ別売)

- 以前の「アナログ小エリア無線」に代わる、デジタル簡易無線を利用した、RS-232C 通信の無線モデムです
- 特定小電力無線(20mW)に比べ 1~5W の強力な電波で見通し 10~50 km、山間部 1~6km の長距離通信が可能です。
- 12V 電源で動作します。高出力の割に受信待機時の消費電流が 80mA と少ないので、40W ソーラでの運用も可能。
- 通信は、制御ソフトを作成し 1 対多通信を行うコマンドモードと、制御ソフト不要の透過モードがあります。
- 簡単な登録申請で使用できる。年間電波利用料金は 1 台当たり 450 円と廉価です。

※別途 5 年ごとに登録申請の費用が掛かります。

■主な仕様

項目	仕様			
型式	デジタル簡易無線局 GSU-7000			
各種接続例 (ジオテクサービス製機器は標準で接続可能。他メーカの場合は別途接続機材が必要な場合があります)				
アンテナの組合せ例 (写真アンテナは長さ 0.95m)	東京測器 TC-35N (パワーコントローラ等必要)	オサテクノス(ネットゲートウェイ Net-GW1 必要)	キャンベル CR1000 (RS-232C クロスケーブル接続)	
技術基準	ARIB STD-T98 デジタル簡易無線局			
技術基準適合証明番号	001TVAA1012			
周波数と送信出力	周波数帯 351.2~351.38125MHz×30 波 (F1C, F1D, F1E, F1F)。送信出力: 1W, 2W, 5W 切り替え			
通信速度	無線部分: 4800bps 通信インターフェース: RS-232C: 1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400bps			
アンテナ接続部	M-J コネクタ(M 型メス) (本体 N-J コネクタを M-J コネクタに変換済み)			
電源電圧	10~16.5V (最大許容電圧 21V)			
消費電流	待機時: 80mA, 受信動作時: 80~120mA。送信時 : 1.5A 以下 (1W)、2.5A 以下 (5W)			
電波利用料 (総務省-地元の総合通信局に納付)	【複数台を一括登録申請する場合】 包括申請 2,900 円/1 式(5年後の再申請は 1,850 円) 電波利用料 450 円/年・台(納付告知書⇄請求書) ※申請を当社で代行する場合は、別途代行費用が必要です。(例: 1 件申請 10,000 円+700 円×無線機台数, 税別金額)			

■オプション: 別途アンテナが必要です。

※その他取付オプション: 制御盤用無線機固定金具, 単管用アンテナ固定金具など



付属品一式



アンテナ M-J コネクタ



ソーラ駆動盤の例



無線機組込盤



長距離無線試験